

第 33 回富山県クラブユースサッカー選手権 (U-15) 大会
(兼 第 37 回北信越クラブユースサッカー選手権 (U-15) 大会 富山予選会)

1. 主 旨 公益社団法人富山県サッカー協会及び富山県クラブユースサッカー連盟は、日本の将来を担うジュニアユース年代選手のサッカー技術の向上と健全な心身の育成を図ると共に、クラブチームの普及と発展を目的とし、一般財団法人日本クラブユース連盟加盟 (ジュニアユース年代) 登録チーム全てが参加できる大会として実施する。
2. 主 催 公益社団法人富山県サッカー協会
3. 主 管 富山県クラブユースサッカー連盟
4. 期 日 予選リーグ 2025 年 5 月 3 日(土)～5 月 18 日(日)
決勝トーナメント 2025 年 5 月 24 日(土)～6 月 1 日(日)
5. 会 場 北陸建エアスリートフィールド、オリバースポーツフィールド射水、永森記念グラウンド
6. 出場チーム STG.FC, 水橋 FC U-15, JOGANJI 富山 U-15, エヌスタイル U-15,
Kurobe FOOTBALL CLUB, Despina FC, 富山新庄クラブ U-15, FC ひがし J ユース,
ジョカトーレ高岡サッカークラブユース (U-15), 富山 SV, JSC TOYAMA FC, FC 滑川
CF エスペリーニョ高岡

7. 出場資格

- 1) (公財)日本サッカー協会に第 3 種登録し、なおかつ富山県クラブユースサッカー連盟に 2025 年 4 月 30 日までに加盟登録申請したチームであること。
- 2) 出場選手は他のクラブチーム及び中学校サッカー部などに二重登録されていないこと。
- 3) 出場チームの選手は、(公財)日本サッカー協会第 3 種登録選手であり、なお且つ 2010 年 4 月 2 日から 2013 年 4 月 1 日までの出生者を対象とする。
- 4) 出場チームの同一下部組織第 4 種 ((公財)日本サッカー協会クラブ申請【回答】済みクラブ) 登録選手に限り、種別変更 (移籍) をせず第 4 種登録選手のままの出場を認める。また、同クラブ内の同じ年代の女子登録している選手も移籍を行うことなく出場することを認める。
- 5) 登録選手は(公財)日本サッカー協会発行の写真付き選手証 (印刷済みまたは電子選手証) を所持していること。
- 6) 県選手権大会から北信越クラブユースサッカー選手権 (U-15) 大会及び日本クラブユースサッカー選手権 (U-15) 大会までは同一の大会と見なし、登録選手は二つ以上のチームから登録をすることはできない。

8. 大会参加費

1 チーム 5,000 円を富山県クラブユースサッカー連盟の口座 北陸銀行新湊西出張所 口座番号 5022190 に振り込む。
掛かる振り込み手数料は、各チームで負担すること。
期日は、大会終了後に会場使用料と一緒に振り込むこと。

9. 表 彰

- 1) 優勝チームには優勝杯 (富山県クラブユースサッカー連盟杯)、及び楯 (富山県クラブユースサッカー連盟楯) を授与し次回までこれを保管せしめる。また、優勝・準優勝及び 3 位チームに富山県クラブユースサッカー連盟および(公社)富山県サッカー協会より賞状を授与する。
- 2) 優勝・準優勝チームは第 37 回北信越クラブユースサッカー選手権 (U-15) 大会への出場権を与える。
- 3) 3 位及び 4 位チームは、北信越クラブユース (U-15) フェスティバルへの出場権を与える。

【競技規定】

1. 競技方法

- 1) 予選リーグを行い、1, 2 位チームが決勝トーナメントに進出し、優勝チームを決定する。
- 2) ルールは日本サッカー協会発行「サッカー競技規則 2024/2025」による。
- 3) アディダス社製「コネクト 25 コンペティション ADF501CO」を試合球とする。
- 4) 試合時間は、予選リーグ 70 分（ハーフタイム 7 分）、決勝トーナメント 80 分（ハーフタイム 10 分）とする。
5 位から 12 位トーナメントは 70 分（ハーフタイムは 7 分）とする。
決勝トーナメントにおいては競技時間内に勝敗の決らない場合は 5 分間の休憩後 10 分の延長戦を行い、なお決らない場合は PK 戦方式により 勝敗を決定する。
5 位から 12 位トーナメントは延長戦を行わず、PK 戦方式により 勝敗を決定する。

5) 予選リーグの順位決定は以下のとおりとする。

(1) 勝点は、勝ち = 3 点 引分け = 1 点 負け = 0 点とし、勝点の多い方を上位とする。

(2) 勝点と同じ場合は

- ①全試合の得失点差
- ②全試合の総得点
- ③当該チーム同士の試合の勝ち点
- ④当該チーム同士の得失点差

それでも決定しない場合は、警告（1）、退場（1 試合警告 2 枚（3）、一発退場（3））数の少ないチームを上位チームとする。

⑤抽選の順に順位を決定する。

6) 警告・退場

- (1) 大会期間中、警告の累積が 2 枚になった選手は次の 1 試合に出場できない。退場を命ぜられた選手は、次の 1 試合に出場できない。その後の処置は、(公社)富山県サッカー協会規律・フェアプレー委員会にて決定する。
 - (2) 予選リーグにおける警告処分は、決勝トーナメントへは持ち越さないものとする。ただし予選リーグから決勝トーナメントにおける出場停止処分が未消化の場合は、決勝トーナメントに持ち越され適用される。
- 7) 選手及びチームスタッフの登録は、事前に登録した選手及びチームスタッフの中から選手 20 名以内、スタッフ 5 名以内とする。

8) メンバー表 3 部を試合開始 30 分前に会場本部に提出する。

- (1) メンバー表の先発選手番号欄に○印、登録しない選手は取消線等で明確に消去すること。スタッフについても当日ベンチ入りするスタッフに○印、登録しないスタッフは取消線等で明確に消去すること。

9) 審判との試合前打ち合わせを準決勝から行うこととし、試合開始 60 分前に本部で行う。

- (1) 予選リーグから準々決勝までは、当該チームでユニフォームを決定しておく。
- (2) 主審のユニフォームチェックを行うので FP/GK それぞれ正/副各 1 着を持参のこと。
- (3) 選手証チェックを行うので持参のこと。選手証がない、選手証に写真が張っていないなどの不備がある場合は当該選手の出場を認めない場合がある。電子選手証（写真の登録されたもの）で確認できる場合は出場を認める。

10) 選手交代

- (1) 交代選手最大 9 名の内 9 名までの交代を認める。ただし、再入場はできない。しかし、以下のように選手交代回数を制限する。
 - ・選手交代は、後半の交代回数を 3 回までとする。（1 回に複数人を交代することは可能）
 - ・脳震盪による交代については相手チームの代表に伝え、相手チームにも 1 回交代を行う権利を与える。
 - ・ハーフタイム、延長の場合は後半終了と延長開始の間での選手交代は、後半の交代回数に含まれない。
 - ・延長戦に入った場合は、1 回交代回数の追加を認める。但しペナルティキック方式での適用は認めない。
- (2) メンバー表提出後、試合開始時間までの間にケガ、体調不良等特別な理由により先発登録された選手が当該試合に出場することができないと当該試合競技責任者が判断した場合のみ先発選手の変更を認める。なお、この

場合の処置は選手交代にあたらぬ。また、当該選手はその試合に交代選手としてベンチに入ることを認める。ただし、この措置は本大会のみとする。それから、当該選手をその試合においてベンチ入りから外す場合は、次の選手を補充することができる。

11) 選手の用具

- (1) 本競技会に登録した正・副 2 組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
- (2) 正・副の 2 色については明確に異なる色とする。
- (3) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- (4) 前項の場合、主審は、両チームの各 2 組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- (5) ソックスにテープまたはその他の材質のものを張り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくてもよい。
- (6) アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- (7) アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

12) 暑熱対策について

- (1) 試合開始 30 分前の測定で、WBGT31℃以上の場合、試合を行わず中止とする場合がある。中止とする場合は抽選で次に進むチームを決定する。なお、中止とせずに試合を実施する場合は、JFA の熱中症対策を講じた上で[Cooling Break]を行う。

13) 雷・荒天等不可抗力による中断・中止について

- (1) 当該試合が後半 30 分を経過していない状況での中断の場合は、原則として試合再開を検討する。試合再開は中断時から試合を再開し、選手は中断時の選手とする。なお、試合再開が不可能な場合は次のとおりとする。
 - a) 前半が終了していれば、中止時点のスコアで勝敗を決定する。
※次の試合開始時間が近づいている場合は、次の試合を優先する。
- (2) 当該試合が後半 30 分を経過した状況での中断の場合は、原則として試合再開を検討するが、再開が不可能な場合はその時点の成績で試合成立とする。なお、ノックアウトステージにおいて同点の場合は抽選とする。

14) その他

- (1) 会場使用規定を厳守すること。
- (2) アップ会場については本部の指示に従うこと。また、アップシューズは必ず持参すること。
- (3) チームベンチは、会場本部からグラウンドに向かって左側ベンチを競技日程表左側に記載されているチームとし、対戦チームを右側とする。
- (4) 登録選手及びチームスタッフは、必ず全員が傷害保険に加入していること。大会期間中のケガおよび破損等の処理は、各チームの傷害保険にて対応すること。
- (5) 試合会場での応急処置は各チームで行うこと。
- (6) 参加資格の違反、不都合な行為があった場合の処置については、大会規律・フェアプレー委員会にて決定する。
- (7) 審判については、主審は 3 級以上で行うこと。アシスタントレフリーについても 3 級以上が望ましい。
- (8) 大会要項に規定されていない事項については大会実施委員会において協議の上決定する。

なお、大会実施委員会とは、大会委員長、大会副委員長、大会実施委員長のメンバーで構成する。

2. 大会関係

大会委員長 尾島和久 実施委員長(大会副委員長) 篠原和浩

総務委員 渡会真典 安田 量 会計 米谷俊輔

事業委員 堤 健吾、高崎幹晴、森泰次郎、藤森健志郎、野田浩之

審判委員長 澤崎盛彦

競技委員 高崎浩史、丸山 剛、木本敬介、清水幸司

大会規律・フェアプレー委員長 尾島和久 委員 澤崎盛彦、篠原和浩